



2021年9月7日

東日本旅客鉄道株式会社

NFC タグを活用したタッチによる新たな体験の実証実験を開始！

～タッチでつながるサービスの拡大 まずは「お台場レインボーバス」の乗車サービスから～

- 東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR 東日本」）は、グループ経営ビジョン「変革 2027」における「シームレスな移動の実現」および「Suica の共通基盤化」へ向けて、スマートフォンを NFC タグにタッチすることでバスに乗車できるサービス（以下、「NFC 乗車サービス」）の実証実験を開始します。実証実験は、「お台場レインボーバス」にて9月16日（木）から開始し、スマートフォンのタッチによる新しいサービスの利用体験を提供します。
- また、NFC タグによるサービスが受けられる箇所を分かりやすくお伝えするために、共通タッチマーク「s-Touch」マークを導入します。
- 今後は、NFC タグの特徴が活かせる環境において、バス利用だけでなく様々なサービスシーンでの活用検討を進めます。

1. 「お台場レインボーバス」における NFC 乗車サービス（実証実験）

（1）概要

「お台場レインボーバス」を運行する株式会社 km モビリティサービス（以下、「km モビリティサービス」）の協力を得て、NFC 乗車サービスの実証実験を行います。バス車内に設置した NFC タグに JR 東日本の MaaS アプリ「Ringo Pass」の NFC リーダーモードでタッチすることで、これまで交通系 IC カードの利用ができず現金でのご利用が中心だった「お台場レインボーバス」において、キャッシュレスでの乗車が可能になります。

- 開始日：2021年9月16日（木） ※当面の間実施
- 路線：「お台場レインボーバス」（品川・田町～お台場エリア）
- 運賃：大人 220 円（こども 110 円）
- 条件：以下、2つの条件を満たす方

- ① NFC リーダーモード対応のスマートフォンをお持ちの方
- ② 「Ringo Pass」アプリに会員登録のうえ、クレジットカードを登録した方



【NFC タグとは】

IC チップを内蔵するシールやカード状の媒体で、スマートフォンの NFC リーダーモードで NFC タグにタッチするだけで様々なサービスが利用できる。費用を抑えながら省スペースで設置が可能。

【お台場レインボーバスとは】

東京都港区との運行協定に基づき、品川駅を起点にお台場エリアの商業施設やレインボーブリッジなどの観光スポットを循環する路線バス。

(2) ご利用イメージ

「Ringo Pass」アプリの地図上に表示されるバス停留所を選び、「タッチで乗車する」を押下します。乗車人数を選択し、「タッチする」ボタンを押すと「NFCリーダーモード」が起動します。

バスの運賃箱上部にある「Ringo Pass」マーク（NFC タグ）にスマートフォンをタッチすることで、乗務員タブレットへ即座に利用が通知され乗車ができます。

乗車券は事前購入ではなく、車内の NFC タグへのタッチにより初めて利用実績が確定し、その実績に基づいて月に 2 回「Ringo Pass」に登録したクレジットカードより決済が行われます。

また、交通系 IC カードでは難しかったお客さまの選択による「複数人乗車」を 1 回のタッチで対応する機能を初めて実現しました。



※ご利用には、事前に「Ringo Pass」アプリに会員登録の上、クレジットカードの登録が必要です。

本実証実験では、支払手段としてクレジットカード決済を採用していますが、今後「Ringo Pass」アプリ内におけるモバイル Suica（SF 残高）からの決済により、Suica が使える環境の拡大を目指してまいります。

【Ringo Passとは】

JR 東日本と株式会社日立製作所が共同で進める MaaS（Mobility as a Service）のアプリサービス。Suica でシェアサイクルを利用できるほか、タクシーの配車・支払いが可能。

(3) 初回利用キャンペーンの実施について

2021年9月16日(木)より「お台場レインボース」をご乗車の際に NFC 乗車サービスを初めてご利用いただいたお客さまを対象に、JRE POINT200 ポイントをもれなくプレゼントするキャンペーンを実施します。

- 名称：「Ringo Pass でお台場レインボースにキャッシュレス乗車！」キャンペーン
- 実施期間：2021年9月16日(木)～2021年11月30日(火)
- 付与ステップ：①「Ringo Pass」に JRE POINT アカウントを連携
②キャンペーン期間中に NFC 乗車サービスをご利用
③後日、初回のご利用に対し JRE POINT200 ポイント付与



2. 共通タッチマーク「s-Touch」マークの展開

(1) 展開背景

NFC リーダーモードは、現在流通している多くのスマートフォンで利用可能です。今回の NFC 乗車サービスを契機に、NFC リーダーモードでサービスを受けられる箇所を分かり易く身近に感じていただけるよう「s-Touch」マークを考案しました。このタッチマークを様々なサービスで活用し、NFC タグの利用シーンを拡大していきます。

(2) 「s-Touch」マークの概要

Suica をタッチする自動改札機のリーダライタが青色 LED を採用していることになり、青色のフレームデザインにしました。このフレームの内側に様々なサービスのロゴマークやデザインを表示することを想定しており、当社サービスに限らず多くの企業と連携して活用していくことができる共通タッチマークとして考えています。

(3) フレームデザイン

カード型や正方形・円形など様々なデザインがあり、用途に応じたフレームを展開します。



※上記は活用の一例です。

3. NFC タグ活用の今後の展望について

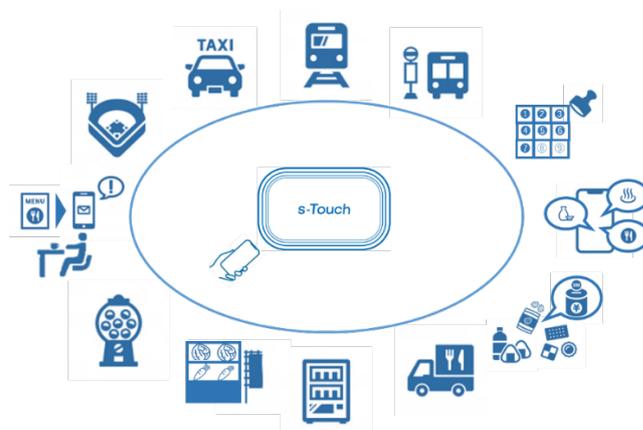
「タッチ」という Suica と共通する特徴を持つ NFC タグを活用し、様々なシーンへの導入を検討していきます。

具体的には、ローコストで場所を必要としない NFC タグの特性を活かし、Suica 決済を広めるツールとして NFC タグを活用していきます。例えば、取扱金額の規模やスペース上の都合からリーダライタ端末の導入が難しい小規模店舗や小型自販機などへの実装に向けて検討を進め、NFC タグを起点とするモバイル Suica ネット決済を広げることで Suica の共通基盤化を目指していきます。

【小型自販機への導入イメージ】



また、「非接触」ニーズに対応したビジネスの拡大に向けて、今後、交通や決済をはじめとする様々な分野で NFC タグの活用を検討していきます。



※Suica およびモバイル Suica は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※Ringo Pass は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※s-Touch マークは東日本旅客鉄道株式会社で意匠登録出願中です。

※s-Touch は東日本旅客鉄道株式会社で商標登録出願中です。